

公平で公正な市民負担の確保に向けて

市税や公共料金などの滞納整理を強化します！

市では、市民の皆さんが「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思えるまちづくりを目指し、各種事業を推進しています。これらの事業を推進するための財源は、皆さんにご負担いただいている市税や公共料金などが大きな割合を占めています。

ほとんどの市民の皆さんには納期限内に納付いただいておりますが、公平で公正な市民負担の確保のために「悪質」と判断される場合は、財産の差し押さえや裁判所へ支払督促を申し立てるなど滞納整理を強化します。

*収納対策室の設置

市の歳入（収入）の根幹である税をはじめ、公共料金等が必要な歳入の確保を図って

いくことは、財政危機の克服、公平性の確保、市政への信頼を高めていくためにも重要となっております。

そこで、各課にまたがる滞納情報を集約し、高額・悪質滞納などの困難事案について、法的手段をとることで滞納整理を行う収納対策室を、今年度から設置しました。

*兵庫県個人住民税等整理回収チームによる滞納処分の強化

市では、県下各地で、個人住民税をはじめとする滞納整理に大きな成果を上げている「兵庫県個人住民税等整理回収チーム」の派遣を要請しました。

このチームは、差し押さえなどの滞納処分を主な業務と

する専門官で組織するもので、本年10月12月の3カ月間、市職員と協力して滞納整理にあたっていただく予定です。

*期限内納付にご協力を

道路をはじめとする社会基盤、将来を担う子どもへの教育、市民の皆さんの生命と財産を守る医療や防犯・防災など各種の行政サービスの提供には、市民の皆さんにご負担いただいている税金や公共料金などが使われています。

誰もが公平に負担し、公平なサービスが受けられるよう、今後も期限内納付にご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

市役所収納対策室・税務課
(☎) 662-3161

まちの文化財 ④

葛畑の農村歌舞伎舞台



葛畑の舞台は、兵庫県下に30棟もあつた農村舞台の頂上に位置づけられる重要な建造物として、昭和43年に国指定重要有形民俗文化財になりました。

平成13年には、老朽化していた舞台の茅葺き屋根を修理しましたが、舞台は使ってこそ価値を発揮するものです。平成15年と16年には、多くの人の熱意と協力で支えられて葛畑座による復活公演が実現しました。

また、今年9月27日には、葛畑の舞台で「せぎのみや子ども歌舞伎」が上演されます。

建物の規模は正面長7・9m、側面長7・7m、高さ9・8mで、多くの専門的な技術が取り入れ

られています。

その一つが本格的な築山回し式の回り舞台です。舞台の床下は奈落で、地面を1・1m掘り、周囲に石垣を積んで高さ2mの地下室を造っています。この中で4人が力を合わせて直径4・1mの舞台を回します。また、公演時には演者の楽屋としても利用されます。

昭和55年の資料では、兵庫県下で179棟、但馬で96棟の農村舞台が現存しています。養父市には29棟あり、内訳は関宮地域19棟、大屋地域9棟、養父地域1棟です。養父市は村芝居が盛んで、多くの農村舞台が今も残されています。

但馬の芝居座は、葛畑座と豊岡市日高町堀の手辺座（大正期に廃絶）の二つがありました。

葛畑座は、明治3年に藤田甚左衛門が村の青年に歌舞伎を教えて始まりましたが、昭和9年を最後に途絶えました。その後、昭和39年と昭和41年の公演を経て、平成15年に37年ぶりの復活公演が実現しました。

葛畑の舞台は、葛畑座の本拠地の芝居堂として明治25年に建てられました。葛畑座も明治3年に始まる歴史を復活し、歌舞伎を見事に演じ舞台を動かしています。
(社会教育課)